

平成 20 年 8 月 21 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 博之

(コード番号：8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 博之

問合せ先 管理本部長

板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2008 年 7 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2008 年 7 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル名/項目	客室稼働率 (%)	ADR (円)	RevPAR (円)	売上高 (百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	77.1%	15,475	11,931	501
オリエンタルホテル 東京ベイ	85.5%	18,460	15,783	553
なんばオリエンタルホテル	84.7%	10,598	8,976	163
ホテル日航アリビラ	89.6%	42,959	38,491	765
オリエンタルホテル広島	74.8%	8,590	6,425	181

上記開示に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門については、引き続きインターネット商品を積極的に販売し、ADRは下回ったものの、稼働率は前年同月を上回ったため、部門売上は前年同月を上回りました。レストラン部門においては売上が前年を下回り、宴会部門は婚礼宴会の仮予約が6、8月へ分散したため、前年同月の売上を下回りました。その結果、ホテルの総売上は前年同月を約14百万円下回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

前年同月の TDR の入場者数は台風の影響で落ち込んだが、今年は 25 周年もあり順調に集客数を伸ばしたことから、宿泊部門については、ADR が前年を下回りましたが、稼働率を伸ばして、売上は前年同月を上回りました。レストラン部門は、前年に実施された主要レストランの改装の反動もあり、売上で前年を上回りました。宴会部門は婚礼宴会が減少しましたが、一般宴会は前年同月を上回り、結果として、

ホテルの総売上は前年同月を約 58 百万円上回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、夏休み需要を確実に取り込み、稼働率は下回りましたが ADR は前年同月を上回り、結果的に売上を伸ばすことに成功し、ホテル全体の売上は前年同月を約 2 百万円上回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、沖縄への入域者数の増加を受け、ADR、稼働率共に上昇し、売上は前年同月を上回る結果となりました。料飲部門は、婚礼宴会が好調に推移し、前年の売上を上回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約46百万円上回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、観光需要を中心にマーケットが引き続き堅調で、今年度より推し進めていたエージェント、コーポレートとの契約増加により、稼働率、ADR、売上と前年を上回りました。レストラン部門においては、前年同月を下回る売上になったものの、宴会部門においては、一般宴会が前年同月を上回る売上となりました。結果として、ホテルの総売上は約 181 百万円となりました。

-
- 注 1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。
- 注 2) 各月の数字については監査等の手続を経していないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。
- 注 3) ADR : 平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>